

私は物心つく頃から、この宇宙にはあらゆるすべてを創り、今この瞬間も創り出している「一なる存在」がいると感じるようになりました。それは、自分が知っているどの神様とも少し違っているように感じました。成長するにつれ、心の奥底で感じ続けてきたすべての源である「一なる存在」について真実を知りたいと願うようになりました。あっという間に数十年の時が流れ、2012年、NMCAAに出会い、アセンションを学ぶ中で、遂にその答を知ることが出来ました！「私とは何者で、どこから来てどこに行くのか、何をしに来ているのか？私は、地球は、宇宙はどのように、なぜ創られたのか？この先、世界は、宇宙はどこへ進もうとしているのか？」といった本当に知りたかったことを知ることが出来たのです！正確には、「知る」というよりは少しずつ「思い出していった」という感じでした。

私が思い出した、すべての源である「一なる存在」とは、・・・「愛」でした。

すべては愛を拡大することを目的に、愛から生まれたこと、私も私の周りの全ても一つの例外なく愛から生まれ、そのことを思い出し、本来の姿である愛に還っていくことが存在する理由であり目的であることが胸の中心であるハートで「分かった」のです。愛とは、宇宙で最も大事なものであり、誰にとっても必要でそれ無くして生きていくことは出来ないものだと分かったのです！

そして、一人でも多くの人が「本当の自分とは愛だった！」と思い出すお手伝いがしたくて、「まず自ら愛になること」を目指し、自分のハートからすべてに愛を贈る実践を始めました。最初にやったことは自分のハートを掌に乗せてじっくりと眺めることでした。あまりの小ささに衝撃を受けましたが、真っ赤なハートは100%愛から出来ていて、まさしく「純愛」でした！そして、今までどれほどハートを大事に仕舞い込み、護り続けてきたかに気がつきました。「ハートのみフォーカスして、すべてに愛を贈る」実践が始まりました。ハートでじっくり感じたことをハートから伝えると、今まででしたら「受け容れてもらえないかもしれない」と胃が痛むほど重苦しく感じていたことでもとても軽やかに笑いをも伴いながら伝えられること、相手に届き、とても楽しいことを体験しました。ハートに羽が生えているような感じです。これを継続したら、人生楽しくて笑いが止まらないと思いました。しかし、突然、「でも、何のためにそれをやるのか？」と問う声が聴こえました。即座に「Oneness！愛とはすべてを一つに繋ぐ唯一絶対のものだから」と答える自分がいました。「Oneness」こそ私が全宇宙史をかけて願っていたことであり、進む道だとハートで深く感じました。すると、目の前の霧が晴れ、「私のすべてが Oneness に繋がっている！それを 100%信じて目の前のことを一歩ずつやっていけば

いいのだ！」と分かり、嬉しくてわくわくしてきました。これがハートが開いた状態であると実感しました。また、ハートが開いていると「限界を感じない」ということも体験しました。限界とは自ら創った観念であり、ただハートで「愛で一つになった世界＝Oneness」をイメージし、そこに向かって創造＝実働していけばいいのだと分かりました。自分の存在が100%の歡びに変わりました！

ハートで感じ、ハートで考えると、「今、ここから何をしていくか？」という視点になり、未来の創造に向かって「動ける」ことを体験しています。「望む未来」を自分で創っていけるのです！それが出来る「鍵」は自分のハートだったのです。大発見です！

Oneness に向かって、「今から、ここから、私のハートから」、始めます！

